

よ さ の

水・緑・空

笑顔かがやく 未来あいのまち



第39号

2016年

2月10日発行

議会だより

Yosano Town Council
Report



主な記事

- ◎新年あいさつ(議長) 2P
- ◎一般会計補正(3号) 7P
- ◎クローズアップ 10P
- ◎一般質問(13人) 11P

与謝野町・成人式
～野田川わーくぱる～

新年あいさつ



議長
今田 博文

迎春

新年あけましておめでとございます。皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年の議会懇談会は初めて24区で開催致しました。区長さんをはじめ、多くの皆様に参加を頂き、無事終えることができました。多岐にわたるご意見を頂きましたので、その実現に向けて議会としても努力してまいりたいと考えております。

昨年12月議会において地方版総合戦略「未来への約束」を可決致しました。人口減少に歯止めをかけていくのが大きな目的です。2060年に国は人口1億人を目標としています。

2700万人の減少は、北海道・東北・九州がなくなることになり、日本全体で見ると大変な事態であります。与謝野町は1万6千人が目標です。現在より6千人の減少になり、4人に1人がいなくなりません。

活力あるまちづくりに向けてどのように組み立てていくのか、人口が減少しても町民福祉の堅持をしていく事が求められていると実感しています。

将来の与謝野町に思いを馳せるとき、世界の各地でテロや紛争にまみれ、住み慣れた地域を離れなければならない現実を見ますと、孫子の代まで平穏な地域であり続けたいと思わずにはいられません。

40年後にこの社会がどのように変わっているのか想像もできませんが、皆さまと共に知恵を出して前に向かって前進していきたいと思えます。

結びに、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまにとりましては幸多い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

活力ある議会に向かって



平成27年12月定例会

与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を可決！！

12月定例会の会期は、12月1日から17日までの17日間で開催した。

一般質問では、13人の議員から町政全般にわたり、白熱した質問が行われた。与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについての議案は、15人の議員から質疑・討論があり、修正案も出されたが、賛成多数で原案を可決した。条例・補正予算・決議・意見書等に、延べ26人の議員から質疑討論があり、24議案を審議し原案通り可決した。

総務文教厚生常任委員会4日間、産業建設環境常任委員会3日間、及び全員協議会を開催し、議案の審議を行った。



更なる医療の充実

問 5市2町連携の話合いと、役割分担は。
町長 北部医療センターの議論を進めている。まだ、連携体制の確立はされていない。
問 地方創生の予算は、頑張る自治体に出るが、今後はどうなるか。

企画財政課長 先進的な取り組みの自治体に出よう。平成28年度は交付率が2分の1になる。
問 頑張る、頑張つてない、その評価基準は。
企画財政課長 その評価基準はもっていない。

頑張る町の評価基準は

高岡伸明

与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについて

(議案第101号)

人口問題は増加策を

安達種雄



子供は未来の宝

問 当町の総合戦略は人口減少が前提だが。
企画財政課長 日本創生会議では2040年に当町は13600人の推定。

問 京丹後市では7万人台に将来増やす計画をしている。当町も人口増の方向で計画するべきだ。
企画財政課長 島根県邑南町では5年前に消滅の危機感から、増加策に取組み現在少しずつ増えてきている。千人足らずの集落で年1%増を計画、空き家対策も含めて2〜3世帯の転入が実現している。

問 府内平均住民所得が下から2番目だが、上昇策はどのように考えるか。
町長 町民の所得の押し上げが必要で、総生産を2%上げ、所得も上げる目標に最大限努力する。産業振興、教育問題など複合施策を一体的に推進する。

問 府内平均住民所得が下から2番目だが、上昇策はどのように考えるか。
町長 町民の所得の押し上げが必要で、総生産を2%上げ、所得も上げる目標に最大限努力する。産業振興、教育問題など複合施策を一体的に推進する。

問 府内平均住民所得が下から2番目だが、上昇策はどのように考えるか。
町長 町民の所得の押し上げが必要で、総生産を2%上げ、所得も上げる目標に最大限努力する。産業振興、教育問題など複合施策を一体的に推進する。

織物文化は負の遺産か

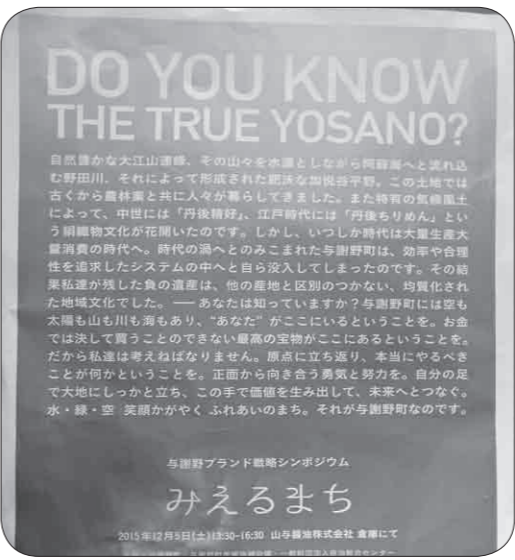
塩見 晋

問 ブランド戦略シンポジウムのチラシ広告「みえるまち」に記載されている負の遺産が指しているものはなにか。

町長 丹後の織り技術が海外に流出してしまったことなどだが、私は伝統産業の織物業の振興に対しては強い思いがある。**問** 織物業はこの地域に大きな恩恵を与えてきた

し、現在も絹織物の産地として機能している。服飾文化の変遷により厳しい状況だが、軽々に負の遺産と言うことはどうかと思う。

町長 行政が使う表現として、もう少し適切な言葉があったのではと感じている。配慮がなかった。



頑張る織物業



高齢者の受入れ

東京圏の高齢者の受入

和田裕之

問 東京圏では75歳以上が今後10年間で175万人増え、医療機関や介護施設不足が予測される。地方が東京圏の高齢者を受け入れるには、国のしつかりとした財政支援が必要だ。しかし、その財

政負担が明確にされていない。地方自治体では慎重に検討されているが、当町の見解は。**企画財政課長** 現在は、若者、家族連れ世帯を中心に検討している。

総合戦略について

勢旗 毅

問 国は、まち・ひと・しごとの政策の原則が示されているが。

企画財政課長 5原則を踏まえて作成した。

問 町では、子育て応援課を新しく置く。こういった政策による人口増が加味されていないが。

企画財政課長 今回は、検討はできていない。

問 織りなす人の項目で大学などへの指定校推薦がうたわれていたが。

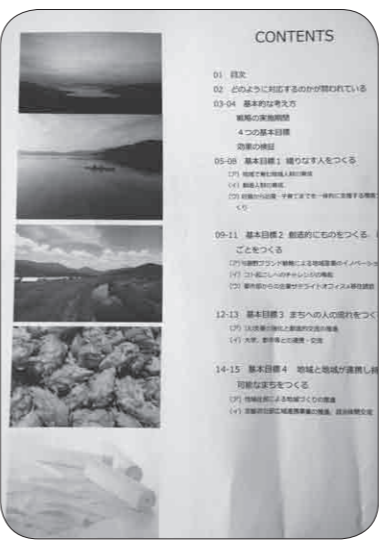
企画財政課長 本部会議で削除した。町で義務教育を超えるのは難しい。

問 丹後ちりめん、私達が残した負の遺産とは。**商工観光課長** 海外に移転した経過から記述した。

問 人口減に歯止めをかけるには、町の職員として採用を考える必要があるのではないか。

町長 私も同感だ。

問 ブランド戦略で「一気通貫」した産業政策とあるが、こんな麻雀用語を使っている意味は。**商工観光課長** 川上から川下まで展開するキーワードの意味で、全国的にも主流用語になっている。



実現目指す戦略を

ホップ栽培の将来性は

多田正成

問 地方創生総合戦略の中で「人」とは人財育成であり、永遠のテーマで頑張っしてほしい。

次に「仕事」とは地方経済の大切な戦略。今回公費でホップ栽培、クラフトビール醸造事業に多額な公費が使われているが、今後のホップ栽培やビール醸造で地方経済の底上げが出来るのか。

農林課長 今年は反当たり84kg、次年度は反当たり150kgを見込む。相場2千円で換算すると30万円の収入で、その中からパイプ柵経費を差引くと11万9千円の収益となるが、与謝野町産ホップとビール醸造で与謝野ブランド化としたい。

農林課長 ホップ栽培は農業施策として研究したい。与謝野町産を売りに「安心・安全」をブランド化したしたい。



収穫アップを期待

保育サービスの充実

渡邊貫治

問 子育て応援課もできるなかで、京都府は第3子保育料無料化を言っているが私立幼稚園、保育所はどうなっているか。

教育次長 聖三一幼稚園は、就園奨励補助金として対処している。

問 岩滝から通う、暁星幼稚園、保育所はどうなっているか。

教育推進課長 他市町の施設は、就園奨励補助費の

対象となっていない。

問 希望する人が子育てと仕事の調和を実現できるように保育サービスの充実を図り、また認定こども園、保育所、幼稚園利用者の経済的負担を軽減します、と言っているが。

町長 与謝野町で育つ子供たちに対する対応を整えていくことなので、今後見直す方向で考えていきたい。

連携中枢都市圏とは

伊藤幸男

問 国の計画では、「連携中枢都市圏」構想の名で、中心部の都市に公共施設と住民サービスなどを「集約化」し、機能の分担などを打ち出している。少なくとも学者・研究者からは、「周辺の市町村にある文化施設、福祉施設などの公共施設や、行政サービスの拠点を「集約化」したり「機能の分担」をするもので、統合した施設は、民間委託などを進めて住民サービスを進めるための儲けの

企画財政課長 京都の場合、国の都市圏構想とは異なるものではないかと考えているが、現時点では詳細は解らない。

古墳公園指定管理者

塩見 晋

与謝野町・古墳公園の指定管理者の指定について

問 指定管理者選定委員会開催日の2日前に設立された合同会社の選定となっているが、公募期間中の状況は。**総務課長** 25年度よりガ



一般会計補正予算（第3号）

平成 28 元旦大江山の日出



さよなら岩滝幼稚園

園 岩滝認定こども園、基本設計図の概要は、**教育推進課長** 国内産木造建築で計画していたが、国からの補助率が下がった。

建設課長 関係機関と協議して鉄骨造となり、予算額は解体費用含めて約7億円以内である。

幼稚園管理運営は

渡邊貫治

た為、鉄骨造りに計画変更した。

配布方法の統一を

小牧義昭

園 行政文書配布が配達員委託料等取扱い3地域相違あり。区業務軽減を。**総務課長** 合併後、区長会協議により決定した。

豆 つつこ施設悪臭境界点。悪臭・道路棄損・地元メリット無し。赤字改善計画で地元の信任を。**農林課長** 理解得る実施計画で地元と協議する。

園 緊急災害時医療センターへのアクセス道路と



配布の利便性

給食施設業務改革を
園 平成28年度総務省は、基準財政需要額算定に学務改革をトップランナー方式で交付税を減額。民間委託等改革を要求する。**教育次長** 知らなかったが情報収集に努める。

与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについての原案に対する討論

賛成討論

家城 功

「希望のある町に」

本議案の中身は、低迷する地域経済と、少子高齢化に加え、人口減少に歯止めをかける、一つの起爆剤となるべき役割がある重要な案件と受け止めている。町民の手によって出来上がったこの戦略は大いに期待するものである。今後この骨組みにどういった肉付けをするかが重要であり、議会でも注目したい。町民一人一人の町に対する熱い思いが一つになってこそ「真のまちづくり」は成し得ることができる。与謝野町の将来が希望ある町になることを強く願い、本案に賛成する。

和田 裕之

「効果的な戦略に」

この創生総合戦略の策定にあたり、努力して頂いた関係者の皆さんには心から敬意を表します。しかし、国は地方が衰退・疲弊の原因をまともに総括せず、頑張る自治体にはお金を出すが、頑張らない自治体には出さないと言った、交付税のあり方まで歪めるものだ。この姿勢は苦しんでいる多くの農山漁村の自治体の再生にはならない。与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略は、今後一層の改善で住民に役立ち地域再生に効果的な戦略にして頂くことを強く求め賛成討論とする。

与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについての原案および修正案に対する討論

反対討論

江原 英樹

「行動指針の明確化を」

総合戦略の基本目標の理念である「競争にいかにか勝ち残るかに知恵を絞るのではなく」は自治体の戦略として違和感を覚える。また最も重要なものは「ひと」との共通認識をもちながら肝心の教育行政に重要性が見られない。行政・議会・町民が協働の精神を共有するにはすべてに「みえる化」が必要である。即ち「KPI」の検証、成果目標（町民幸福度）の具体化、「PDCA」の確立等である。議会に課された議決責任を全うするには、まだまだ審議と議論が必要である。

小牧 義昭

「将来の効果結果不明確」

有識者会議委員の提言に感謝。策定の5原則①自立性②将来性③地域性④直接性⑤結果重視とする創生総合戦略は、やる気（本気度）・知恵・実現可能性・緻密度の自治体間の金取り合戦だ。行政提案事業（37中9が新規）の、現状・課題・財源措置、何より大事な将来の効果が不明確。国・府に対し予算要求（獲得）の目論見も不明確。厳しい財政（平成33年交付税約7億減、平成34年基金枯渇）に及ぼす影響も不明確。早期に練直しを要求する。



補助制度の拡充を

生ゴミ処理機の普及を

高岡伸明

問 どの程度の普及か。
住民環境課長 電気式、コンポ式10基を予定。平成26年度は、電気4、コンポ10になっている。
問 ゴミ減量呼びかけしているが、補助金5%カットは、いかがなものか。
住民環境課長 来年度に向けて考えている。

椿サミットの現状は

家城 功

問 現在の進捗状況は。
商工観光課長 開催要領もでき順調に進めている。
問 町全体の協力が得られるよう意識付けも含め情報発信の強化もすべき。
町長 町民への周知と情報発信は重要。努力する。また、外部に向けても町の魅力を伝えていきたい。
問 おもてなしの精神で。
商工観光課長 来町される方の心に残るおもてなしを心掛け準備を進める。



全国椿サミットせまる

空き家バンク

有吉 正

問 空き家調査を終え、所有者にアンケート調査をされている。対外的に物件情報を公開できる空き家バンクを創設予定とされている。下水道に何%接続されているのか。
企画財政課長 空き家バンク策定に向け、その点も調査する。
町道大門線改修
問 「大門線をやる」と前太田町長は2年前の12月議会で答弁されている。町長の答弁は重い。若い農家も出てきた。農業環境整備をして、外からの



早い完成を期待

住民自治活動支援とは

藤田 史郎

問 まちづくり・ひとづくり補助金として、府より537万3千円計上されているが、その配分・実施状況は。
企画財政課長 当初617万5千円計上の中で、諸事業約2千万の要望が各自治区から出ている。府の未来戦略交付金を受け13区を含め22件の申請に2/3を支給する。今年度分で全て完了となる。

問 まちづくり・ひとづくり補助金として、府より537万3千円計上されているが、その配分・実施状況は。
住民環境課長 来年度に向けて考えている。



支援の更なる充実を

ごみ減量の取り組み

問 40%の減量化計画は実現できる取り組みを。
住民環境課長 28年度を強化年度とし取り組み予定。町民の理解と協力が得られるようパンフレットを作成し、有線TV等も活用して取り組みたい。
問 育児や介護で出る紙



どうなるマイナンバー

マイナンバー関連機器

和田 裕之

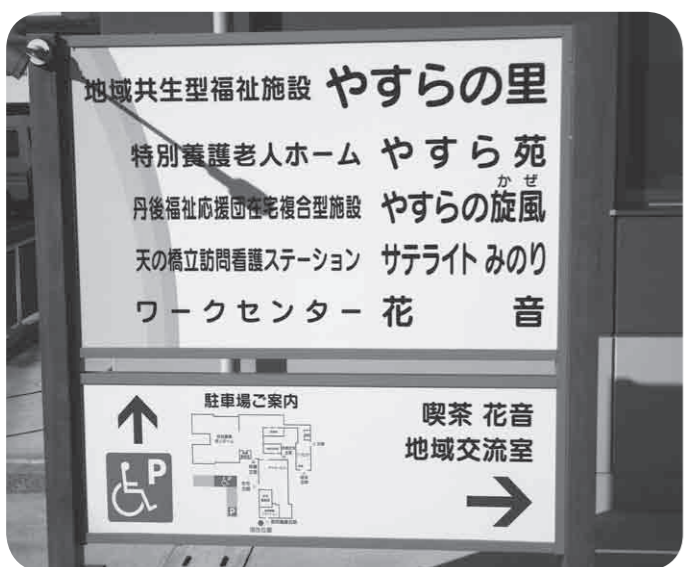
問 マイナンバー関連機器として、「顔認証システム」と「裏書プリンター」をそれぞれ3庁舎への導入がされる。国により制度が実施されるにも関わらず、顔認証システムは「特別交付税」で措置されるが、裏書プリンターは措置をされず、自治体負担とは、全く理解ができない。

住民環境課長 裏面プリンターに関しては、強制ではなく、必要なら各自治体で導入しなさいといったものであるため、交付税で措置をされない。

地域ケア会議の実施を

小牧義昭

問 医師ケアマネ看護師等多職種連携による障害認知症高齢介護等を支援する仕組の構築を要求。
福祉課長 来年1月から事業に取り組みたい。



見えるケア会議



急がれる森林整備

Q 森林整備計画と進捗状況

A 治山治水はまちづくりの重要な視点

問 予算書の林業振興費では、有害鳥獣対策や土砂流出防止工事などが多くを占め、直接の林業整備や振興に係る予算は少額となっている。人口林と土砂災害の関連は。

町長 町面積の75%を森林が占めているのは18%ほど。人工林において山地災害防止や水源涵養機能などを発揮させるためには、保育・間伐などの適切な森林整備が必要条件である。

問 森林資産の有効活用のため、国では森林経営計画の策定を推進している。町の総合計画では29年度を目途としているが。

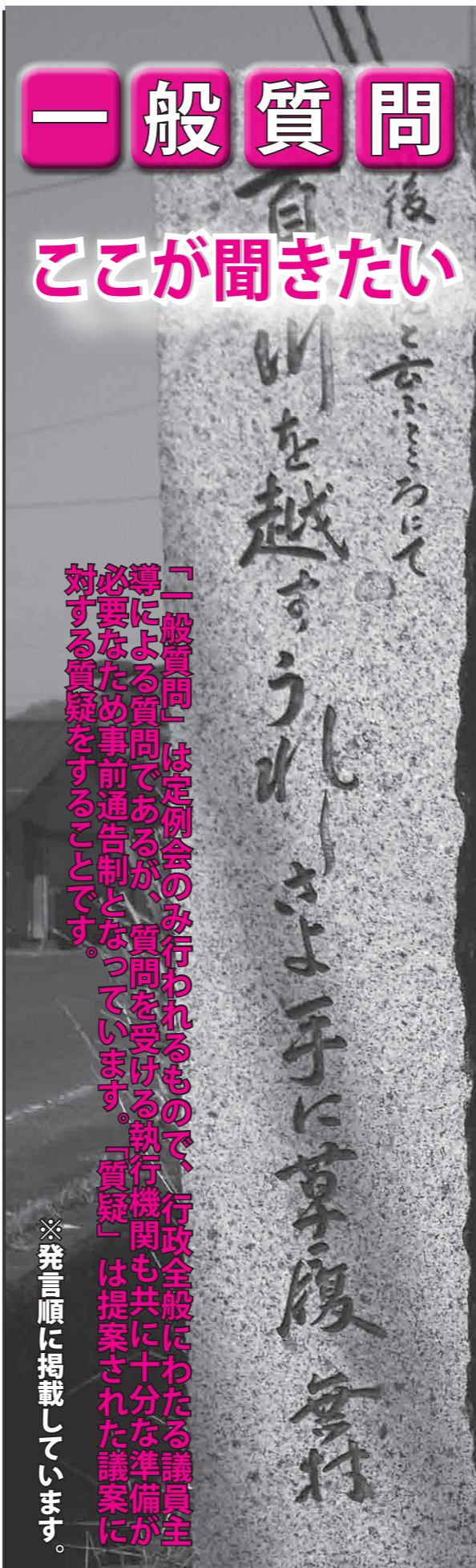
町長 順調に進んでいないが、関係者と調整をして進めていく。府が28年度導入予定の森林環境税の方向性は、税額は一人600円、年間税収6億8千万円、対象市町村



塩見 晋 議員

問 今回の販売方法は公平性に問題があるかと思ひ、6月定例会でも質問をしたが、精算もすでに終わった。議会懇談会の中でも、住民からインサイダー(内部者)取引ではとの指摘を受けているが。

町長 町民の皆さんに混乱を招いたことは事実である。アンケート集計後にホームページなどを通じて情報開示をする。



「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要となるため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に對する質疑をすることです。

※発言順に掲載しています。

に50%が配分される。森林整備の財源として期待している。

よさの振興商品券事業

12月定例会

加ースアップ

～地方創生、5年間の指針～

与謝野の「ひと・しごと・まち」づくり

「未来の約束・4つの目標を議決」

基本目標

- 1、織りなす人をつくる
- 2、創造的にものをつくる。しごとをつくる。
- 3、まちへの人の流れをつくる。
- 4、地域と地域が連携し持続可能なまちをつくる。

平成時代と共に日本経済は、低迷の一路をたどってきたが、日本の培ってきた技術革新は、世界が注目する21世紀の日本の夜明けは真近、グローバル社会に向け当町の地方創生で示す「ひと、しごと」が創出のできる「まち」づくりになればと、期待したい。



ドナーの登録

Q 骨髄移植ドナーへの助成制度創設を
A 近隣市町状況を踏まえ前向きに検討を進める

問 日本骨髄バンクによると、ドナー登録者は全国で45万人であり、患者の9割以上に少なくとも1名以上のドナー候補が見つかるようになってきたのが現状だ。しかし、実際に移植に至るのは60%程度にとどまる。その理由として、ドナー側の健康問題が原因の場合もあるが、提供時の入院や通院の負担も要因の一つだ。採取前後の健康診断もあり、4日から長い場合1週間程度の通院や

入院が必要となる。また、それだけではなく「会社が休みにくい」「収入が減る」といった休業補償がないことなどの、ドナーの経済的負担も挙げられている。こうした提供を断念するケースを減らすため京都府も制度創設を呼び掛けている。今年の夏以降、府下で12市町村が助成制度を設けており、通院や入院一日



和田 裕之 議員

につき2万円を給付し、府と市町村が半分ずつ負担するという制度である。今後、多くの方の理解と協力を得て、一人でも多くのドナー登録者を増やすことが必要だ。当町でも助成制度創設すべきだ。

町長 ドナー登録者が提供しやすい環境づくり、登録者を増やすことの必要性は感じている。近隣の市町村の状況を踏まえ、前向きに検討し進めていきたいと考えている。



朝夕のメロディー

Q 地方交付税の削減と地方創生
A 5年間で7億1750万円削減。関連しない

問 平成28年3月で合併10周年を迎える。地方交付税はどうなるのか。地方創生との関連は。
町長 平成28年度から1割の約7千万円、次年度は3割、その次年度は5割と5年間、段階的に削減される。地方創生分として削減とは関連しない。
町道岩屋川線と大門線

問 岩屋川線の四辻側は整備されたが、岩屋地内の進捗がない。農業、雲岩公園、地域の為に一日も早く完成を。
町長 岩屋川線を開通させ通行車両を廻せたら、通学路の安全対策にも繋がる。区と連携して今後も努力する。大門線は岩屋川線が開通してから調整を図る。



有吉 正 議員

問 朝夕の曲に多様性
町長 野ばら、ふるさとも良いが、若者、季節、元気が出るなど、新生・与謝野町が感じられる多様な曲を。本町の防災行政無線システムでは、この2曲に加え、恋は水色、赤とんぼ、夕焼け小焼け、ムーンリバー、システムオリジナル曲が選択可能となっている。この曲以外を流そうと思うと、音源の購入に別途経費がかかる。既存システムの曲名の中から一度、季節によって曲名を変える等、検討したい。
問 経費がどれくらいかかるかなど調べ、多様な曲の対応をしてほしい。



町民参加の健康スポーツを

Q スポーツで町民の健康増進を
A 健康増進面からもスポーツ活動推進が必要

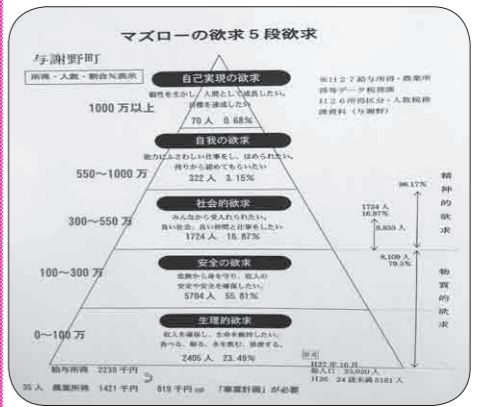
問 スポーツ振興政策を持つべきではないか。
町長 健康増進面からも、スポーツ活動を推進していく必要がある。町の振興や町民に効果のある取り組みを行っていききたい。
問 スポーツ施設の整備計画が必要ではないか。
町長 旧町毎に3カ所のグラウンドや体育館、テニスコートなどがある。多くの施設の老朽化が著しく、

スポーツ施設だけでなく施設のあり方を検討・協議する。
問 運動やスポーツの活動、施設整備の状況は。
町長 町内の体育施設を小学生から高齢者まで、利用している。岩滝海岸線などでジョギングなど、最近ではノルディックウォーキングも盛んと聞く。多くの町民が運動に親しん



高岡 伸明 議員

でいると認識している。
問 宮津市ではレスリングの大会が誘致されているが、町の計画は。
教育推進課長 過去に加悦高でウエイトリフティングの京都府の予選会が開かれた。最近では、ソフトボールが盛んで京都府の予選会が行われている。
問 今は、科学的トレーニングを取り入れられている。町の指導状況は。
教育長 水を飲むなどという指導を受けている。今は、研究されていると認識している。



どうする土地利用

Q 都市計画策定で土地利用計画示せ
A 全体の都市計画デザイン設計の必要あり

問 企業誘致で引き合いがあったとしてどこへ来てもらうのか。土地利用計画もなければインフラ整備もできていない当町で誘致活動も出来ない。都市計画の策定・土地利用計画を要求する。
町長 特色のある町づくりには全体の都市計画デザインを設計する必要がある。
問 併せて財政状態も鑑み、凍結している都市計画税を解除し全町

に賦課をすれば、0.1%だと2千万円0.3%なら6200万円程度の歳入増となり財源確保となるが。
町長 都市計画税は議論が蓄積している。今後の対応を考える。
問 新しい視点の産業政策
 与謝野町総生産額(GDP)に対する雇用人数・産業10分類(農



小牧 義昭 議員

業製造業サービス業等)においてどの分野をどれだけ増やそうと「新しい視点での産業政策」を具体的に予見可能な事業について数字的に示し、町民の所得の引き上げの具体策と実施時期を問う。
町長 非常に重要な政策なので、具体策・実施時期についての答弁は控える。
問 今実施の阿蘇ベイのクリエイティブ等は、マズロー5段階欲求と町民所得者を相関した場合、低所得・高所得層のどちらを優先する政策か。
町長 双方層での実施。

Q 与謝野町合併十周年を迎えて

A 記念事業は町の一体感の醸成を図るもの



期待する10周年記念事業

問 地方創生が言われるなか、どのような記念事業を計画されているのか。

町長 町が誕生し10周年を迎えた歩みを振り返り、町民の更なる一体感の醸成と、次の20周年に向けた新たな町の姿を描くため、観光的な事業の意味合いを含めたイベントにしたい。

記念事業について

Q 今、なぜごみの減量化なのか?

A 来年4月より1年間を減量取組期間



新ゴミ処理施設へ向けて

問 ごみ問題を考える「ごみの減量化と有料化」と題し、住民環境課による全24自治区で、住民説明会が開催された。どのような反響があったのか、その結果報告を聞く。ごみの有料化は、住民にとって身近な日々の生活に直結する問題である。行政としてその報告をどのように住民へ知らせるのか。またそれに伴い高齢者に解り易く、できる限りの簡素化ごみ分別(イラスト図や表など)を具体的に示すべ

きた。

きた。



藤田 史郎 議員

町長 説明会への参加者は全部で868名であり、その内アンケートは769名の方から回答があった。結果の概要から見ると、ごみの有料化については理解をいただき、ごみの減量化の実績により、ごみの有料化の有無やごみ袋の価格を決定する考え

問 小学校区よりなお小さい拠点コミュニティ事業

小学校区よりなお小さい拠点コミュニティ事業



江原 英樹 議員

大江山運動公園を整備拡充し、水線空と汗、心が一体化したスポーツ大会の開催とキャンプの誘致を。

町長 スポーツ大会は有意義だが、整備拡充は予算的に考える余地がない。

主体の事業に、町が支援する特区指定制度の創設を。

町長 京都府や本町の既存制度によって支援したい。

町民の一体感について

問 一体化とは新町への帰属意識を強化し、エゴ意識をなくし、行政の意思決定を円滑に実現することにあると思うが、町長の現状認識を問う。

町長 行政は公平公正で効率的運営を図り、町民は「協働の精神で」総合戦略に盛り込まれた「織りなす人をつくる」を施策として、町民の一体感の醸成を図りながら、未来を創造していきたい。

方については「良いと思う」という意見が76%あった。ごみの減量化については、資源の有効活用とごみの減量化(雑ごみ・衣服の回収やごみ処理容器の活用など)を更にお願するものである。

広報よさの・有線テレビ・HPなどでお知らせし、一層のご理解とご協力をお願いしたい。

Q 雲岩公園の整備を問う

A 「国定公園」指定であり府と調整が必要



名勝つつじの雲岩

問 平成2年岩屋の若い人を中心に「雲岩創造委員会」が編成され本腰を入れた自然公園の整備が進められて来た。公園入口の段坂や遊歩道には国鉄時代の枕木を活用、枝木の剪定やつつじの植樹など公園の整備をされてきた。公園内のトイレ清掃も上地の婦人の皆さんに続けていただいている。平成7年「京都百選」に、後に与謝野自然風景十選に選ばれて、平成19年

8月「丹後天橋立大江山国定公園」に指定された。公園内には西日本一と言われる「こぶしの木」もある。



安達 種雄 議員

平成20年雲岩創造委員会が「全国みどりの愛護」で国土交通大臣から感謝状を受けている。

毎年春と秋に岩屋区全戸に呼びかけた公園の整備、清掃の地域の取り組み

が評価されたと思う。

府道沿いの公園の案内看板も老朽化となり手を入れる必要がある。

今後の雲岩公園の整備について町長はどのように考えているのかを問う。

町長 現在、岩屋区で今後の地域づくりのワークショップが開催されており、その議論やプロセスを見守り行政主導でなく住民自身の考えを尊重したい。国定公園「第二種特別地域」の指定であり、整備には府と調整が必要で、今後行政としてできるお手伝いをしていく。

Q 戦前の教訓である教育行政の独立は

A 教育の独立性は従来通り残し、連携を強める



時代にあった教育環境を

問 世界では「子どもの権利条約」が多くで国で批准。日本も94年批准したが具体化せず。安倍政権は教育改革で基本法も改悪。予算も削り、学校でもし寄せを受け、何度も国連勧告を受けるほど、貧困と格差が広がり、十分な教育が受けられない子どもが急増。①全国で広がる「子どもの権利条例」をどう見るか。②戦前の教訓「教育の一般行政からの独立」をどう見るか。③府の高校あり方検討委が開

かれた。加悦高が統廃合になれば地域再生にも逆行する。



伊藤 幸男 議員

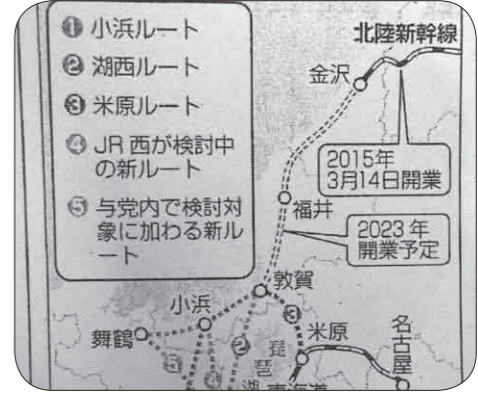
【原発】安倍内閣は、規制委員会が避難計画は対象外と定めた新基準で再稼働を狙い、原発利益共同体と外国輸出に奔走。福島事故は原発の危険性と甚大な被害を示した。昨年福井地裁は人格権が奪われるとし、原発の運転差し止めを命じた。この中で、再稼働反対

の世論が再燃している。④町は30kWh外だが住民説明会の開催を。⑤使用済み核燃料の貯蔵施設を造るが。⑥避難計画策定を。

町長 ①一人ひとりの子どもの人権を守る。②教育執行機関の独立性は従来通り残し、首長との連携は強めたい。③加悦高存続のために努力する。④近隣市町と調整のうえ、必要に応じて要請したい。⑤京都北部への設置は賛成できない。⑥府や近隣市町と連携し協議を進める。

Q 北陸新幹線構想どう参画

A 有力な候補のルートと感じている



京都北部への高速鉄道の推進

問 北陸新幹線が開通し大変な賑わいだ。このルートを延伸し、舞鶴から京都、更には天王寺、関空に繋ぐ構想が浮上してきた。近畿の弱点はインフラの南北軸がないこととの指摘もある。最も不便な地域であり、経済効果も大きい。運動にどう参画されるのか。

町長 日本一遠い陸の孤島と揶揄されていた丹後の状況は一変する。北部地域の発展には大きな効果がある。



勢篠 毅 議員

あり有力なルートである。5市2町と連携して、声を出していきたい。

新年度農業予算は

問 TPP関連で国においては大きな農業関係予算が組まれる。今の町の農業の課題は、豆つこ米肥料の製造プラントの改善と農業基盤の整備がある。

ある。京の豆つこ米は、今年5月からイタリヤのミラノの国際博覧会に京都の食の企業を通じて出展されたと聞く。また、60年余りに旧加悦谷土地改良区で整備された区画は一枚10アールで、農道、水路も農業機械の大型化に対応できていない。農業地帯は、農地一枚最低でも35アールの時代。このチャンスを活かすことが大事では。

町長 本町の攻めの農業の観点から、必要な事業と位置付けている。有利な財源の確保を目指し、タイムリーな事業実施に向け、準備を進めたい。

Q 24区の要望の進まない理由を問う

A 財政状況が厳しく各区への対応に限界がある



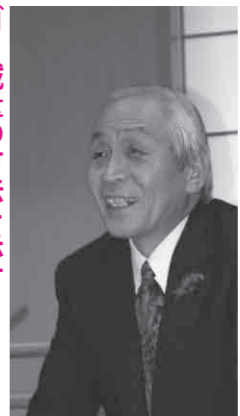
自治区の課題は山積

問 各24区の地域周辺の整備箇所779件、実施件数16%。実施率が上げられないのか。

町長 切実な要望は理解しているが、財政が厳しく理解してほしい。

問 27年の要望を分析、新規要望27・4%追加、実施率と要望パランスが合わない。27・4%以上の対応予算を建設課へ。

町長 町民の安心安全を守るため、できるだけ応えるよう努める。



多田 正成 議員

ゴミ減量の方法を示せ

問 ごみの分別は示されているが、40%の減量は住民の努力、工夫しかない。野焼き、焚き火など「法的・条例」を解るよう示す必要がある。

町長 「焚き火その他日常生活を営む上で、通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの」と規定され、枯れ草や落葉、枯れ枝など「焚き火」は法律で認めている。

問 個人でできることは個人で努力し、違反のない焼却方法の一欄表ができないか。

町長 広報よさの記載し住民に解るようにする。

課題を克服する戦略を

問 今回の地方創生総合戦略は「ひと、しごと、まち」の中で、町の課題を克服し、新たな展望の開ける戦略が必要。

町長 指摘の通り、住民の安心安全と地域経済、或いは行財政も重要分野として取組んでいく。

Q 体育施設の現状と将来の考えは

A 「公共施設白書」に基づき検討する



どうする体育館

問 岩滝体育館に大規模改修の診断が出ているのに、なぜ改修しないのか。

教育長 大規模の改修が必要と診断結果がでたが、積雪が屋根全体に1.5m積もった状態の判断基準であり、屋根の形状から雪は落下している為、今すぐの改修とは考えていない。

問 体育施設の現状と今後のあり方は。



宮崎 有平 議員

教育長

町民が利用しやすい施設や、スポーツに親しむ取り組みを実施することが重要である。公共施設白書に基づき、財政状況を考慮し、今後の施設のあり方を検討する。

学校の道徳教科化

問 新学習要領のなかで、道徳教育の内容は変わったのか。平成30年の教科化はどうなる。

教育長 いじめ問題や発達の段階を踏まえ、改善が図られ、指導方法も工夫されている。学校と家庭や地域との連携・協力を強化し、社会全体での取り組みが必要と考える。

町の看板を新しく

問 与謝野町の看板が古くなっている。旧町から使用しているので、形やデザインも統一されていない。町政10周年に向け、新しい看板で、町をきれいにしては。

町長 見苦しい看板の撤去を進め、環境美化に関する全体的な制度設計をもう一度見直す必要がある。関係各所と調整し、一歩でも二歩でも進める。

町長 商工会をはじめ多くの町民、また町に関心のある方からも色々な意見を聞き進めていきたい。

問 新たなことにチャレンジすることとは大切。しかし、十分な根拠のもとで進めなければ失敗する。

町長 各持ち場のなかで、常に挑戦する意識を持って職に当たりたい。また地域内外の活力を最大限に活かし進めていきたい。

ごみの減量化は

問 40%の削減は可能と思われるか。可能と思うのであればそれに向けた徹底した取り組みを。

町長 一人一人の協力が得られれば可能。実現に向け取り組む。



見えにくいブランド戦略

Q ブランド戦略事業について問う

A 地域内外の活力を最大限に活かしたい

問 この事業は非常に見えにくい分野が多いと感じている。今後の考えは。

町長 来年度も各事業において更に力を入れて取り組みを進めていきたい。

問 ホップ事業について、農業施策であるにもかかわらず、セレモ二一的な部分が多すぎるのでは。

町長 現在農業をされている方もとより、新たに起業したい方



家城 功 議員

や若い世代の方にも情報発信は必要であると考えている。

問 まちづくり事業のなかで、町の職員育成にもつながる取り組み方も必要。

町長 今後の取り組みに活かしていきたい。

問 まちづくりの主役は町民一人一人。町民にもっと「見える」取り組みを進めるべきでは。

委員会報告

産業建設環境常任委員会

委員長 塩見 晋

【与謝野町商工会と懇談】

開催日時 平成27年11月13日
場所 商工会本所 小会議室
与謝野町商工会からの申し入れで懇談会を実施。商工会からは、安田会長、鳥垣・足立両副会長・長島事務局長以下幹部職員の出席で、総勢15人で懇談を行いました。
現在、商工会が進めている「新しい産業起こし推進事業」の、農商工連携で観光や林業も含めた「売れる商品づくり」の説明を受けたあと、商工業・観光振興などについて意見交換をしました。会員増強を組織的に展開され、増加に向かっていることを聞きし、与謝野町商工会組織の力強さを感じました。

【行政視察報告】 まちごとキャンパス構想

視察先 鳥根県 川本町
日時 平成27年11月18日
人口減少対策の取り組みとして、県立高校の魅力化を支援し、将来の町の担い手の人材育成をしている。周辺地域の子ども全員が入学しても高校存続が危ぶまれるため県外からの留學を受け入れ、

組合議会報告

宮津与謝消防組合

報告者 家城 功

【定例会】

開催日時 平成27年10月23日
報告事項 状況報告（1～9月） 火災発生14件、救急出動1634件、救助活動15件。
議案事項

- ① 条例一部改正
 - ② 26年度決算認定 歳入10億1300万円・歳出9億9300万円。歳入の90%は市町の分担金で歳出の70%は職員の人件費 — 全員賛成認定
 - ③ 第2号補正予算
 - ④ 事業費減の調整による補正 — 全員賛成可決
 - ⑤ 公平委員会員の選任
- 与謝野町選出の植田氏の再任承認 — 全員賛成可決
全員協議会
- ① 宮津分署建設に係る現状報告
 - ② 消防通信施設整備事業の現状報告
 - ③ 重伝建保存地区の防火活動について報告



（川本町役場にて）

田園回帰とA級グルメ構想

視察先 鳥根県 邑南町

日時 平成27年11月19日

日本一の子育て村構想を掲げて、保育料は第2子目から無料、給食も無料。病児保育所を2カ所に開設し共働き家庭を中心に子育て世代への支援を地域と共に取り組んでいる。
人口減少対策として、農林商工連携で基幹産業の農業を活かして雇用を生みだす施策を展開している。食から職を生む食の人材育成事業には、地域おこし協力隊の21人が活躍している。地産池消レストランでは農産品に高付加価値をつけて食の魅力発信、ブランド化で観光誘客に繋がっている。

宮津与謝環境組合

報告者 宮崎 有平

【定例会】

開催日時 平成27年9月27日
昨年度的一般会計の決算認定について、決算は歳入8千8万円（前年度対比12・8%増）歳出7千954万円、（前年度対比26・3%増）で赤字。経費の抑制に努めた。決算額が増となったのは、パソコンの更新、情報通信機器設置委託料の増、グラウンド西側バックネット改修工事時に借り入れた財務省への元金償還による増、特別教育支援委員等を雇用の増が主なものであった。

与謝野町宮津市中学校組合

報告者 高岡 伸明

【定例会】

開催日時 平成27年12月1日
26年度は、7事業を委託業務として実施した。そのうち、生活環境影響調査・用地平面図等の作成業務・用地測量業務を債務負担行為による平成25年度からの2か年事業として実施した。26年度の収支は、歳入7千377万円、歳出7千98万円、差引額278万円となった。また、構成市町の分担金は、7千93万円で、歳入の96・2%となる。各市町の分担金の割合は、人口割りで、宮津市3千85万円、与謝野町3千631万円、伊根町375万円である。歳出では、投資的経費が3千704万円となっており、歳出の52・2%を占めている。

決議

北陸新幹線の京都府北部都市圏を經由する若狭（小浜）ルートの早期実現を求める要望決議

本年3月に「長野一金沢間」が延伸開業した北陸新幹線は、政府が「金沢一敦賀」の延伸を3年前倒しすることを決定し、平成35年春の開業に向けて整備が進められている。昭和48年に整備計画が作られ、以来40年以上が経過し、今ようやく議論が加速しようとしている状況のなかであって、地域が一丸となって北陸新幹線の京都府北部地域への誘致の実現にむけて取り組む必要がある。京都府北部5市2町では、27年4月に「京都府北部地域連携都市圏形成推進」を行い、さらに、府北部地域には日本海側の重点港湾や、海事拠点、工業団地等の国土拠点が集積している。高速鉄道でネットワーク化することは必要と考える。したがって、府北部都市圏はもとより、国府におかれても、積極的に取り組んでいただくよう要望する。

以上

平成27年12月

発議者 多田正成議員

意見書

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

拉致問題は許しがたい重大な主権の侵害であり、人権侵害でもある。また、拉致被害者の帰国を待ち望んでいる拉致被害者家族の高齢化も進むなか、昨年5月にストックホルムで開催された日朝政府間協議において、北朝鮮は拉致被害者を含むすべての日本人に関する包括的かつ全面的な調査の実施を約束、さらに7月の北京における協議で、特別調査委員会を立ちあげるなど問題解決に期待を抱かせたものの、その後、具体的な進展の目途は立っておらず、一刻も早い問題解決が求められている。よって、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 北朝鮮に拉致された多くの被害者を一刻も早く救出すること。
- 2 北朝鮮による拉致の可能性が排除できない失踪者の真相を究明すること。

以上

平成27年12月

京都府与謝野町議会

一目でわかる審議結果

賛否の分かれた議案

○印は賛成 ×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

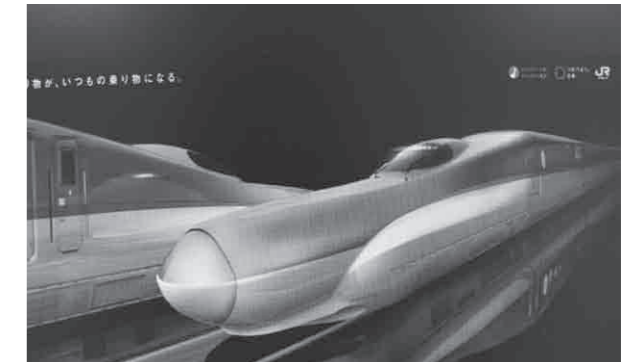
議員名	賛成	反対	高岡	和田	小牧	渡邊	安達	江原	伊藤	藤田	宮崎	塩見	河邊	有吉	家城	勢篁	多田	今田
			伸明	裕之	義昭	貫治	種雄	英樹	幸男	史郎	有平	晋	太郎	正	功	毅	正成	博文
与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについて	11:4		○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を定めることについて(修正案)	3:12		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
新町まちづくり計画の変更について	14:1		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行政手続における特定の個人識別するための番号利用等に関する法律に基づく個人番号の利用にかんする条例制定について	12:3		×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北陸新幹線の京都府北部都市圏を経由する若狭(小浜)ルート早期実現を求める要望決議(案)	12:0		退席	退席	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○
政党助成金制度の廃止を求める意見書(案)	4:11		○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○

◎新幹線 今ようやく議論が加速

北陸新幹線を京都北部地域への誘致を求め未来への丹後の経済生活圏を豊かにする必要がある。平成35年に開業に向け金沢～敦賀間の延伸が決定。このチャンスをビックチャンスととらえて、北部全体で機運を高めよう！！

金沢～敦賀間延伸決定(平成35年開業予定)

- 敦賀以西ルート4案として
- ①敦賀～小浜～大阪間ルート(案)
 - ②敦賀～京都間(湖西線ルート)(案)
 - ③敦賀～米原間ルート(案)
 - ④敦賀～小浜～京都間ルート(案)



JR東日本ホームページより

- 舞鶴ルート急浮上
- ⑤敦賀～小浜～舞鶴～京都間ルート(案)
- 長野～金沢 平成27年3月14日 開業

◎与謝野町消防団・出初式

わが町を守る与謝野町消防団の出初め式が厳粛の内に華々しく開催された。

(平成28年1月10日)

澤田団長以下356名の団員のすがすがしい行進は、日ごろの訓練の賜物と感激いたしました。

今年も災害のないことを祈りつつ町民の生命と財産を守るため、大変な役目をお願い致しますが、団員の皆様のご尽力を心からお願いをする次第であります。



アンケートのお願い

議会広報特別委員会では議会だより(広報誌)をより良くご愛読していただくため、住民の皆様に「議会だよりモニター」を実施させていただいています。

当委員会の委員が住民の皆様にアンケートを「37号」からお願いを致しており、ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

引き続き継続させていただき、今後の紙面づくりに活かしていきたいと考えています。お気軽に率直なご意見やご感想を頂ければ幸いです。

又、アンケート項目以外のご意見などもお聞かせいただければ幸いです。

議会広報特別委員会
委員長 和田裕之

表紙写真紹介

成人式(1月10日)
～野田川わーくばる～

全24区で実施 議会懇談会の報告

平成27年10月13日～11月12日

1 はじめに

平成24年に制定した議会基本条例第4条の規定で、本年度も議会懇談会を10月13日～11月12日の間に開催し197人のご参加を頂きました。

議会懇談会は、広く町民の声を聴く広聴活動の充実を図り、町民の意思を町政に的確に反映させることを目的としており、本年度は「一人でも多く地域の声を聴く」との趣旨で、町内24区の会場で開催しました。

当日参加者の皆様から頂いた多くのご意見・ご要望と回答を取りまとめましたので、アンケートの集計結果も併せてご報告致します。

議会懇談会の開催に当たり、区長様をはじめ関係者の方々、ご参加頂いた町民の皆様には多大なご協力を頂き心より厚くお礼申し上げます。

今回、若い方々の参加が少なかったことから、若い世代の方の参加について今後の課題として捉えています。今後も議会懇談会の開催で、皆様から頂いた貴重なご意見を基に、引き続き創意工夫に努め、より充実した懇談会となるよう議員一同取り組み、開かれた議会の推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 まとめ・総括

議会基本条例に基づき、二元代表制の下でその一翼を担う議会として、町民からの声を聴く「広聴活動」の議会懇談会を本年度も開催しました。

本年度は全24地区を会場として巡回し、テーマを設けず、全議員を4班に編成し実施しました。



これまでの懇談会では、議会への批判がストレートに出される傾向がありましたが、今回は「町政懇談会の二番煎じになっている」「行政の後追いとなっている」「議会ですべき課題を明確にして実施すべきだ」「基本条例に沿ってテーマを設けてやるべきだ」「議論を深め、もっと行政に対案や提案を示していくべきだ」など、従来にはなかった具体的な意見を多く頂きました。

議会への町民の大きな期待だと受け止めています。さらに、24地区会場で開催したこともあり、各区の課題や実状、悩みなども多く出され、新鮮な側面もありました。このことは、大きな収穫であったと考えています。

今回の特徴的な意見では、冒頭に議会からの報告事項で4点①地方創生②ゴミ処理の広域化と有料化③認定こども園の進捗状況④加悦中学校改築工事の進捗状況を掲げ、それらに関連した発言が多くありました。

特に「人口減少」「地域の再生」「地域活性化」などについては、町民の方も大きな関心があり、議会に対して「どう考えているのか」「どうしていくのか」といった質問や、「もっと対案も示し、深めてほしい」などの意見が出されました。他にも様々な分野・角度での意見がありましたが、とりわけ「地域振興商品券」事業については、鋭い辛辣な意見が出されたと感じてお

ります。

1班4名の体制で、議員間の連携や意欲が一層深められたのではないかと感じる反面、参加者の質問や意見に対する対応には、勉強不足を感じる面も少なくなかったと受け止めております。

以上を踏まえ、今後の議会の課題として

- ①皆さんから頂いた多くの声を行政に届け、その実現に取り組む。
- ②議会懇談会への若い世代や女性の参加も得られる対策を検討する。
- ③町の政策に対し、議会として議員間討議を深め認識共有を図り、対案・提案できるよう努める。
- ④議員としての資質向上を一層図る。
- ⑤各分野の団体との議会懇談会も意欲的に取り組むなどが挙げられると総括しています。

これからも

- ①町民に見える議会
 - ②町民の声を聞き、その期待に応える議会
 - ③町民の参画と協働で進める議会
 - ④町民と共に政策提言できる議会
- に向けて、より一層努力を重ねていきたいと考えています。

3 町長へ要望書提出

議会懇談会で町民から寄せられた町に対するご意見・ご要望のうち次の事項について、平成28年1月14日に今田議長、多田副議長、伊藤議会運営委員会委員長、宮崎議会運営委員会副委員長が、議会を代表して山添町長に要望書を提出しました。



《要望事項》

- (1) 有害獣対策として整備された防護柵の維持管理について、各区への財政的支援を求めます。
- (2) 広域ごみ処理施設整備について、事業費縮減の十分な協議と検討を行ない、周辺自治区をはじめ町民への丁寧な説明に努められたい。なお、先進地の施設では度重なる不具合や事故が発生し問題が起きているので、この点も充分精査・検討されたい。
- (3) 学校の統廃合問題は町民にとって大きな関心事であり、すでに平成34年の統廃合は困難であるとする。新たな統廃合の方向性を検討するよう求めます。
- (4) 岩屋小学校の市場小学校への編入により児童の登下校距離が延長されることとなり、十分な安全対策を講じるよう求めます。
- (5) 介護保険料等の町民負担が増加しており、元気に暮らせる介護予防施策の充実を求めます。
- (6) 府道網野岩滝線、府道加悦但東線の整備促進に努められたい。
- (7) 重要伝統的建造物群保存地区保全事業の京都府補助金について、上限基準額が交付されるよう京都府に対する要望を求めます。
- (8) 本町は高浜発電所からの距離は僅かにUPZから外れる地域であるが、原子力防災対策を講じると共に、住民避難計画の策定に努められたい。
- (9) 町内各区の地域要望に対して積極的に対応されたい。

4 意見・要望などに対する回答

懇談会で参加者の皆様から寄せられたご意見・ご要望の回答については、報告書としてまとめ、区長をはじめ関係者の皆様に配布し、ホームページに掲載することとしています。



まちの宝

子どもページ 桑飼小学校 の紹介

本校は「つながる」ということを大切にして様々な取組を進めています。

4月の新入生歓迎遠足をはじめ、定期的な全校あそびや各委員会のスタンプラリー、新春遊び、大縄跳び大会などの行事に児童会をはじめとする上級生がリーダーシップを発揮し、積極的に取り組んでいます。各取組では、異年齢の色別班を作成し、他の班と競ったり、班で協力をしたりすることで自然と子ども同士のつながりができています。そして、昼休みには学級遊びを行い、学級や教員とのふれあいを深めています。

また、地域では「いきいき桑飼コミュニティ」の皆様のご協力により、田植え、稲刈り、ばら寿司づくりやふるさと学習の出前授業、登下校の安全指導等にご尽力いただいています。子ども達は地域の夏祭りに出向き、四季折々の地域の自然を詠んだ歌「桑飼の宝」や校歌を披露しています。桑飼の豊かな自然や地域の方に見守られ、子ども達はすくすくと育っています。



【じゃんけん列車】



【稲刈り】



【ばら寿司づくり】



【夏祭り】

町民の広場

与謝野町の未来につながるオリジナルアイデアを募集します！！たとえば、「1人目から子供の保育料を無料にしてほしい」や「与謝野町の特産品を開発したい」などというものから、「与謝野町だからこそ可能」な具体的アイデアまで何でも結構です。町民の皆さんからの様々な建設的なアイデアやご意見をお待ちしております。私たちの住む与謝野町をより明るい、活気のある未来へとつなげましょう。

● アイデア・意見

現在は加悦・野田川・岩滝の3カ所で曜日年齢によって利用日の日程が組まれており、それぞれの支援センターに参加できるような日程にはなっているようですが、例えば金曜日など、年齢に関係なく参加できる日が週に一度、月に一度あっても良いのではないかと？又、与謝野町内に3カ所ある子育て支援センターを、利用対象となる親子さんのなかにも知らない人が多いのではないかと？

● なんのために

親にとっても子供にとっても幅広い交流の機会になり、新たに参加しようと思う親子さんが増えれば良いと思う。

● なぜ

同年齢で決められた曜日に加え、年齢の違った子供同士が交流することで、普段見られない成長や変化も見られるのではないかと思います。

● どんな未来が描けるか

年齢の違った子供同士交流することにより親子共に社会性が広がるのではないかとと思うと共に、支援センターのような場を利用することで育児中のちょっとした悩みを保育士の先生に相談したり子供さんを持つ親同士、育児の悩みや、生活のなかでのアイデアを共有しあったりできるという場は、親にとっても大切な時間であると思う。

利用者が増え人と人との繋がりが増えるなかで、良い環境での子育てができる場の一つとして利用者も増えるのではないかと、そうであって欲しいと思います。

● 投稿者氏名 ・・・・40代女性

※お寄せいただきましたアイデア・意見については、町づくりの参考にさせていただきます。

写真募集

議会だよりの表紙に掲載する「写真」を募集しています。掲載の選考は広報委員会で決定します。詳細は、議会事務局までお問い合わせください！

編集後記

▼議会だよりの編集も当委員会で担当させて頂いて7回目になりました。▼担当メンバーでの編集は後1回となりました。▼皆様にご愛読していただくために、より正確にわかりやすく心掛けてきましたが、まだまだだと感じています。▼今後より良い広報誌になるよう更に努力して参ります。

(記 多田)

発行責任者	議長	今田 博文
編集	編集長	今田 博文
議会広報特別委員会	委員長	和田 裕之
	副委員長	小牧 義昭
	委員	高岡 伸明
		藤田 史郎
		宮崎 有平
		河邊 新太郎
		多田 正成